

不登校生への支援学ぶ

鹿児島市 保護者向け勉強会



不登校生を持つ保護者に必要な心構えを説明する青山真理氏＝21日、鹿児島市の第一学院高校鹿児島キャンパス

不登校の児童生徒を持つ保護者向けの無料勉強会が21日、通信制高校・第一学院鹿児島キャンパス（鹿児島市）であった。不登校生との接し方に悩む32人が対面、オンラインで参加。支援者としての心構えや子どもとの対話術を学んだ。

不登校生を持つ保護者には、受け止め、親が焦らず落ち着いて支援することが大切」と諭した。その後、不登校経験のある高校生2人が登壇し、当時を振り返った。参加者は、登校を期待する親とのギャップに悩む子どもの心情を勉強した。

不登校に関する講座を開く一般社団法人「共生と共育ネットワーク」（東京）が主催。同法人理事で教育カウンセラーの青山真理氏（53）が講師を務めた。

子どもたちの話を聞く際の表情や姿勢を意識した対話術も学んだ。不登校だった高校2年の息子を育てる母親（48）は「わが子が負担を感じず、自分のペースで学校生活を送れるように、対話を心がけたい」と話した。

青山氏は、保護者の心理的安定が子どもの安心につながると説明。「不登校（出水終）